

# 議会ウォッチ



## ココに注目!

肥料価格高騰対策補助金《トピックス》 P4

ここが聞きたい《一般質問》 P7

あの質問どうなった?! P13

表紙 / コロナの先に(12ページ)  
(合)東峰村ツーリズム協会 小野代表

平成29年九州北部豪雨災害から5年  
あの日、あの時、あなたは

# その声を 後世に紡ぎたい

## 村民の皆さまへ

平成29年九州北部豪雨災害から5年。災害復旧工事の完了もようやく見えてきた中、徐々に薄れていく当時の記憶。50年に一度、100年に一度と言われる自然災害が毎年のように起こる近年、東峰村においても、もう災害は起こらないとは言えません。

広報委員会では、5年前の皆さまの体験をぜひ記録として残していくために、災害発生当時のことをお聞きしていきます。ご協力よろしくお願いたします。

東峰村議会広報特別委員会

令和4年12月定例会は12月12日から14日までの会期で開催しました。  
規約の変更1件、条例改正4件、補正予算3件(一般会計、特別会計)、推薦1件、発議1件を慎重審議し、原案どおり可決しました。また8人の議員が一般質問を行いました。なお、一般会計補正予算は5128万9千円を追加し、総額42億1758万9千円となりました。

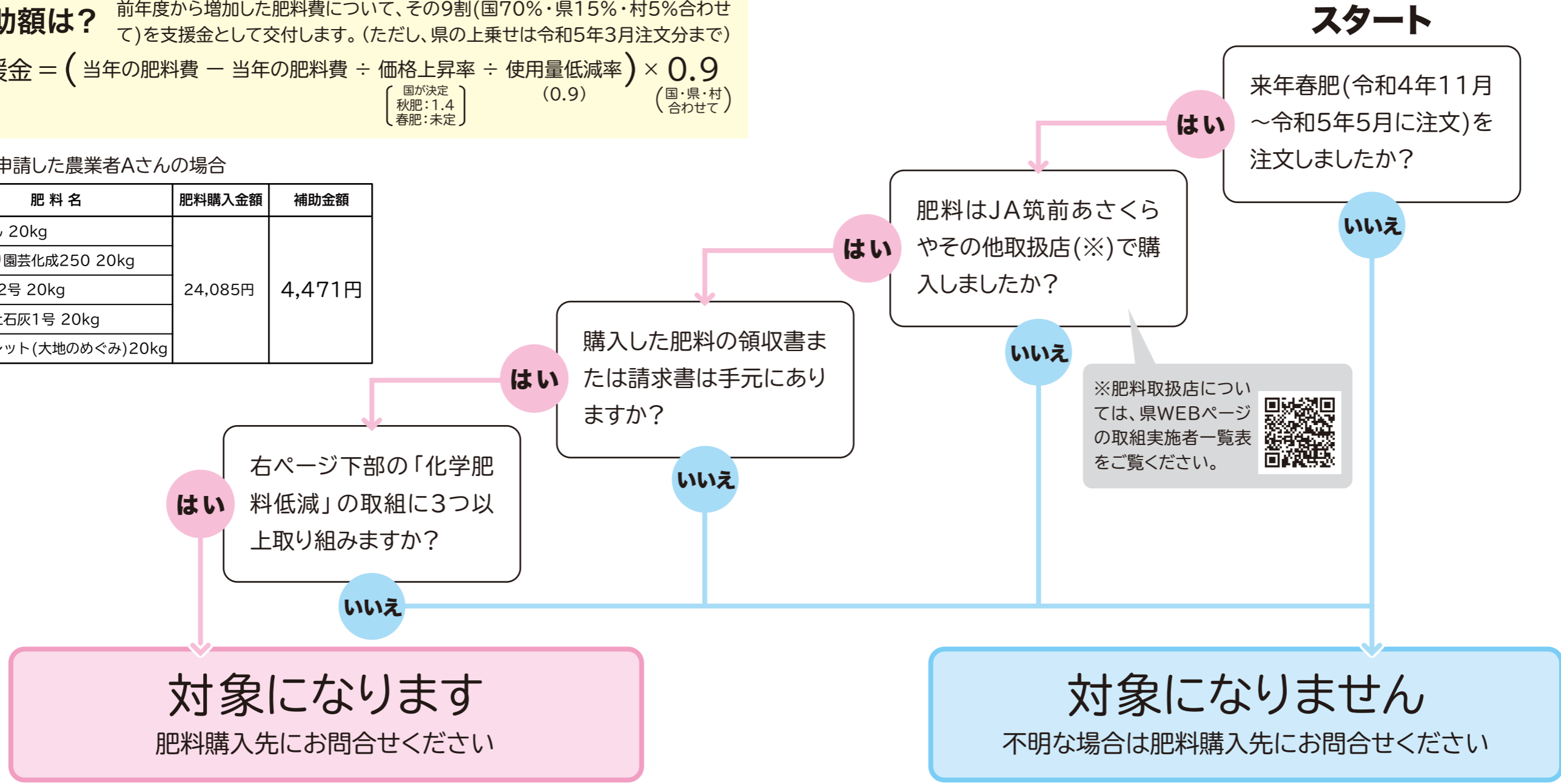
**補助額は?** 前年度から増加した肥料費について、その9割(国70%・県15%・村5%合わせて)を支援金として交付します。(ただし、県の上乗せは令和5年3月注文分まで)

$$\text{支援金} = \left( \text{当年の肥料費} - \text{当年の肥料費} \div \text{価格上昇率} \div \text{使用量低減率} \right) \times 0.9$$

(国が決定  
秋肥:1.4  
春肥:未定)
(0.9)
(国・県・村  
合わせて)

秋肥を申請した農業者Aさんの場合

肥料名	肥料購入金額	補助金額
ようりん 20kg	24,085円	4,471円
有機入り園芸化成250 20kg		
NK化成2号 20kg		
精粒苦土石灰1号 20kg		
鶏糞ペレット(大地のめぐみ)20kg		



**対象になります**  
肥料購入先にお問合せください

**対象になりません**  
不明な場合は肥料購入先にお問合せください

※肥料取扱店については、県WEBページの取組実施者一覧表をご覧ください。

**イマイチわかりにくい**  
**肥料価格高騰対策補助金**  
**ウチは申請できる?!**

12月定例会補正予算にて、国の肥料価格高騰対策補助金の村負担金(秋肥分)が可決されました。制度上、対象者と対象肥料がわかりにくいため、フローチャートで解説します。令和4年秋肥の補助金申請は村内で16件でした。

**議会より一言**  
申請条件が煩雑なため、農林建設課には丁寧な相談サポートを求めるとともに、村独自の小規模農家に適した肥料・資材価格高騰対策の立案を求めてまいります。

- 化学肥料低減の取組**
- ア 土壌診断による施肥設計
  - イ 生育診断による施肥設計
  - ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入
  - エ 堆肥の利用
  - オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)
  - カ 食品残渣など国内資源の利用(工とオ以外)
  - キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用
  - ク 緑肥作物の利用
  - ケ 肥料施用量の少ない品種の利用
  - コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用
  - サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)
  - シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用
  - ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用
  - セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く)
  - ソ 地域特認技術の利用
  - タ 県独自技術(稲ワラのすき込み等)の利用
- ※秋肥の申請では、多くの方が土壌診断による施肥設計や堆肥の利用等で申請されています。

# ここが聞きたい!

## 一般質問

令和4年 東峰村議会 第8回(12月)定例会

質問順	議員名	質問事項(色付きは記載事項)	ページ
1	高橋 弘展	ふるさと納税について 物価高への対応について 村の広報について 医療・介護・福祉部署の専門職員の確保について 教育委員会への指導主事配置について	P8
2	高倉 美紀恵	公共施設等のトイレ状況について 公共施設等の手洗い場の整備状況について	P8
3	梶原 伯夫	農業・農地問題について 地域交通について	P9
4	佐々木 孝	村長に就任して1年間の成果と課題について 今後の村づくりにむけた具体的な目標の設定について イングリッシュキャンプの成果と課題について 外国語教育の更なる充実にむけて	P9
5	佐々木 紀嘉	トーキョーディネーター事業の結果について	P10
6	和田 将幸	平成29年災害復旧工事について 福岡県日田彦山線沿線振興基金について 駅周辺整備について	P10
7	黒川 隆康	観光に関わる委員会の在り方について	P11
8	大蔵 久徳	行政のデジタル化について 移住定住について	P11

一般質問の詳細は  
議事録をチェック!!



## 第7回臨時会(11月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	黒川	佐々木	大蔵	高橋	梶原	高倉	佐々木	樋口	和田
			隆康	紀嘉	久徳	弘展	伯夫	美紀恵	木孝	朗	将幸
補正予算	可決	令和4年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第4号)について(生活応援商品券等)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	令和4年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第2号)について									
その他	可決	財産の取得について(スクールバス)									

全員賛成

## 第8回定例会(12月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	黒川	佐々木	大蔵	高橋	梶原	高倉	佐々木	樋口	和田
			隆康	紀嘉	久徳	弘展	伯夫	美紀恵	木孝	朗	将幸
規約	可決	甘木・朝倉・三井環境施設組合を組織する地方公共団体の数の減少及び共同処理する事務の変更並びに甘木・朝倉・三井環境施設組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	-	○
条例	可決	東峰村特別職の職員の給与等に関する条例及び東峰村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	可決	東峰村一般職の職員の給与に関する条例及び東峰村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	可決	東峰村公民館条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	-	○
補正予算	可決	令和4年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第5号)について 4・5ページへ	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	可決	令和4年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	可決	令和4年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	-	○
その他	可決	議員定数調査特別委員会の設置に関する決議案の提出について 12ページへ	○	○	○	○	○	○	○	-	○

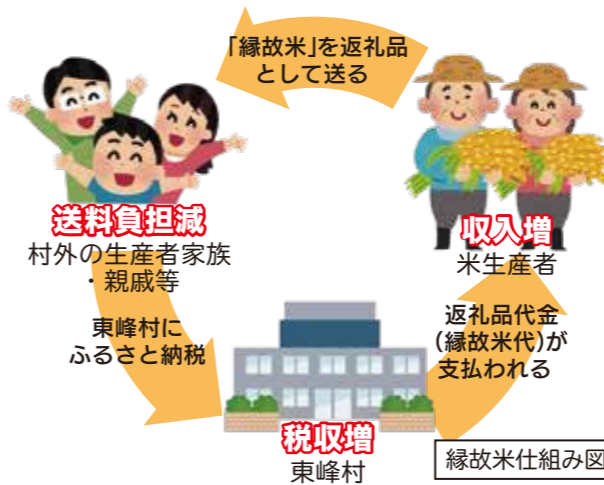


高橋弘展 議員

### 縁故米をふるさと納税の返礼品にできないか

議員 「縁故米」を受け取った家族や親戚、知り合い等が、村にふるさと納税し、その返礼品代を農家に還元する仕組みはできないか。農家の収入増や送料の負担減、税収増につながるのでは。

村長 制度の有効利用としていい取り組みであり、検討に値する。



### 物価高騰対策について

議員 農地の土壌分析を行い、施肥適量化により肥料経費低減ができないか。

村長 物価高騰対策でもあるが、おいしいお米を作るために土壌分析は必要。村として支援を考える。

### LINEを活用した広報について

議員 村の広報は、世帯主向けだが、LINEの活用で、個人に対して広報が可能となるのでは。

村長 情報戦略が村の戦略として一番重要であり、今後、指示検討していく。

※縁故米：農家が親戚や知り合いに無償または有償で送るお米。



梶原 伯夫 議員

### 地域交通の実証実験は村民に伝わっているか

議員 会議が少ない中で進められているが、住民代表が少ないのではないかと。

ふるさと推進課長 地域公共交通会議は、村・道路管理者・交通事業者・住民または利用者・運輸支局・運転者が組織する団体等を含める必要がある。委員は16名で、村民は7名。

議員 なぜ議員を入れなかったのか。

ふるさと推進課長 検討したが、近隣の状況や県の指導で入れてはいないが、議会には随時報告や状況の説明をしていく。

議員 実証実験を行っているが、村民に十分伝わっているのか。

村長 思ったより利用が少ないので、防災無線を使って呼びかけるよう指示を出した。



実証実験で使用した乗合タクシー

議員 会議が3回しかない中で、協議会での意見だけでよいのか。

ふるさと推進課長 村内での移動目的を調査し、交通網につなげていくため、村民の利用状況を把握している。

村長 計画を作ったというわけではなく、今後とも協議を行い改善する。より地域に合う、利用しやすい交通体系の整備に努めたい。



高倉美紀恵 議員

### 公共施設のトイレは整備されているか

議員 新しい公共施設は洋式トイレが設置され、古い施設は和式のままである。トイレは観光客にとって大切な場所であり、快適な環境にするべきではないか。

村長 施設改修を全体的に考えるうえで、総合施設等管理計画の個別計画を作っている。施設改修基金等の財源をある程度投入しながら、トイレの改修についてもやらなければと認識している。

どなたにも気持ちよく使用していただけるよう表示を変えるべきではないか。また、東峰村の地図にトイレの場所を書き込んでどうか。

村長 多目的トイレの表示についてはピクトサインの関係や色合いを参考にして、できるだけ速やかに対応したい。トイレマップについては、可能かどうか勉強させていただきます。

※ピクトサイン：非常口のマークのような、誰にでも情報を伝えられる簡略化した視覚記号。



議員 SDGsの5番目にジェンダーの平等がうたわれているが、古いトイレは身障者のみの表示になっている。新しい施設は、「多目的トイレ・どなたでも利用できます」と書かれ、表示も多彩である。観光に来て利用するトイレは、



佐々木 孝 議員

### 「地域コミュニティ協議会」の設立計画は

議員 「地域コミュニティ協議会」設立に向けて、今後の計画はどうなっているか。

村長 行政区の再編ではなく、今の行政区をベースに大きくくりで地域の課題を解決していく話し合いの場をつくる。今年度、職員の勉強会を行い、来年度設立検討会(仮名)を設ける。地区の代表と職員でより良い仕組み作りについて話し合っており、準備ができたところから実施していきたい。

外国語教育の充実に向けて

議員 イングリッシュキャンプの経費と妥当性は。

教育課長 全部で111万7千円だった。妥当と考える。

議員 東峰学園は、イングリッシュキャンプをはじめ、ALT、英語講師、オンライン英語学習などに取り組んでいる。コロナや国際情勢等で難しいと思うが、キャンプの予算を活用して、修学旅行を海外にできないか。

### 村づくりのデザイン化について

議員 村づくりを「デジタル化の最も進んだ東峰村」のようにデザインできないか。

村長 デジタル田園構想の中で、「デジタルは生活を豊かにする」ものについて、具体的内容を検討している。



東峰学園4年生のオンライン英語学習の様子



佐々木 紀嘉 議員

### トーチキョーデイナー事業の結果は ——村長 地域商社までできなかつた

**議員** この事業の目的は、**ふるさと推進課長** 事業主体を村、推進主体を陶器組合として、小石原焼ブランドの構築、販売ルートの開拓、人材育成、後継者の確保等のマネージメントを行う、いわゆる地域商社の設立。

**議員** 当初窯元何戸が参加し、最終事業年度には何戸が参加したのか。  
**ふるさと推進課長** 全窯元、44戸が参加し、令和2年度、3年度事業も、44戸参加という認識。

**議員** 事業結果をどう捉えているのか。  
**村長** 結果として、0か1かという形でいくと、地域商社は設立できてない。設立については、組合で種々検討、努力をしていただいたと理解している。

**議員** 商社結成に至らなかった原因は。

**村長** 地域商社設立を目指して組合も取り組みを行ってきたが、独立した企業の設立のための資金確保が難しいと組合内で協議されたと伺っている。

**議員** 今後の窯業についてどう考えるか。

**村長** 今後小石原焼、高取焼の振興に向けて、今回のような大きな事業は厳しいが、伝統的産業の事業や県との協働事業等、今後も取り組んでいきたい。



改修した伝統産業館



黒川 隆康 議員

### 観光関係の協議の場をまとめるべきでは ——ふるさと推進課長 来年度一本化して行く

**議員** 観光に関わる委員会として、観光懇談会と観光アクションプラン推進委員会があるが、それぞれの委員会の立ち上げの経緯と目的は。

**ふるさと推進課長** 観光懇談会については、観光関係団体の交流と意見交換等、観光振興に関する協議の場として、令和2年度に立ち上げた。観光アクションプラン推進委員会は、東峰村観光アクションプランの推進・進捗管理・評価を行うこと。そして、観光庁事業の第2のふるさとづくりプロジェクトモデル実証事業の進捗管理のために、本年度立ち上げた。

**議員** 協議内容はほとんど同じだ。また、12名中8名の委員が兼任している。委員選任の根拠は。



観光アクションプラン推進委員会

**ふるさと推進課長** 第2のふるさとづくり事業は、本年度、宿泊プラン・グルメ開発を目的としているため、推進委員会では関係する方に参加いただいた。

**議員** 観光に関する委員会をついにまとめるべきではないか。

**ふるさと推進課長** 来年度から一本化できるように進めたい。



和田 将幸 議員

### 日田彦山線基金の確保は ——村長 運用の中で考慮し、村としての考えは伝えている

**議員** 日田彦山線沿線地域振興基金の活用計画は。

**村長** 主に駅周辺整備等にかかるハード事業、BRT利用促進や地域振興につながるソフト事業を計画している。特に駅周辺の整備事業は、令和5年度までに計画を作る予定。

**議員** 基金活用実績は。

**ふるさと推進課長** 添田町は令和3年度約1600万円、令和4年度約1億3300万円（見込み）。東峰村は令和3年度約500万円強、令和4年度約2700万円弱（見込み）。

**議員** 添田町・東峰村、基金の配分は考慮されているのか。

**村長** 県の設置した交付金の性質上、明文化した配分はできないが、基金運用の中で考慮される。随時、県には村としての考

えをきっちり伝えている。

### 災害工事における 住民要望の引継ぎ

**議員** 災害から5年半が経過し、担当者変更などで住民の意見・要望が引き継がれていないのでは。  
**村長** 説明会や現地立ち合いなどの議事録・記録簿を作成して職員間の共有を図り、引き継ぎ処理を行っている。



駅周辺整備に関するワークショップ



大蔵 久徳 議員

### 行政のデジタル化のメリットは ——村長 業務効率化により利便性が向上する

**議員** デジタル人材の確保はどのようになっていくのか。

**村長** 職員数が少ない現在、そういった職員の配置ができない状況である。今後のデジタルトランスフォーメーション推進の課題である。

**議員** マイナンバーカードの普及促進策とその結果は。

**住民福祉課長** 職員によるタブレットへの入力の手伝いや、10月29日から行政書士が申請の補助を行っている。また、防災無線、東峰テレビで申請の案内をしている。9月時点の29・6%から11月末時点で42・7%、84.5名に交付をしている。

※デジタルトランスフォーメーション：デジタル技術によって、社会や生活をより良いものにすること。

**村長** デジタル推進の足掛かりとして当然検討している。国の交付金を活用し、早ければ来年度から導入していきたい。



マイナンバーカード

# 追跡! あの質問どうなった?!

## 防災無線で注意喚起されました

放送日	内容
令和4年9月6~7日	秋に向けての啓発放送(村長)
令和4年9月16~18日	福岡コロナ特別警報から福岡コロナ警報へ切り替わりにあたっての注意、食料等の備蓄
令和4年12月1~3日	感染急増に対する冬の感染対策
令和4年12月4~7日	年末年始等人の移動に関する感染対策、食料等の備蓄(村長)
令和4年12月28~31日	年末年始等の感染対策、食料等の備蓄

結果

9月定例会 一般質問より  
議員 新型コロナウイルス感染症は第7波に入り、本村でも多くの人が感染している。初期には、村内で感染が確認された際には防災無線により注意喚起が行われていたが、どうなっているのか。

コロナ感染状況を防災無線で注意喚起すべきでは

## 県の食料品等支援制度があります

- ◆支援対象者(全てを満たす方が対象)
  - ・新型コロナウイルス感染症の陽性者で自宅療養される方
  - ・家族等による買い物支援やその他の食料品等支援が受けられない方
  - ・ネット販売、宅配サービス等での購入が困難な方
  - ・当面の食料品等の買い置きがない方
- ※有症状の場合で症状軽快から24時間経過した方、無症状の方、濃厚接触者の方は対象外です。また、これらの方が家庭内にいらっしゃる場合も対象外となります。

- ◆費用負担  
無料(利用者負担はありません)

- ◆提供方法及び配送日時  
支援対象者に県から受託しているエフコープ生活協同組合が配達します。(配送日時指定はできません)

- ◆申込方法  
県ホームページをご参照の上、ホームページ内からお申し込み下さい。医療機関で受診された方にお配りしているチラシにかかっている電話番号からもお申し込みできます。



結果

9月定例会 一般質問より  
議員 一人暮らしの村民や家族全員が感染もしくは濃厚接触者で、自宅療養の場合の食料支援はできないのか。

コロナ自宅療養者への食料支援はできないか



配達される食料品等

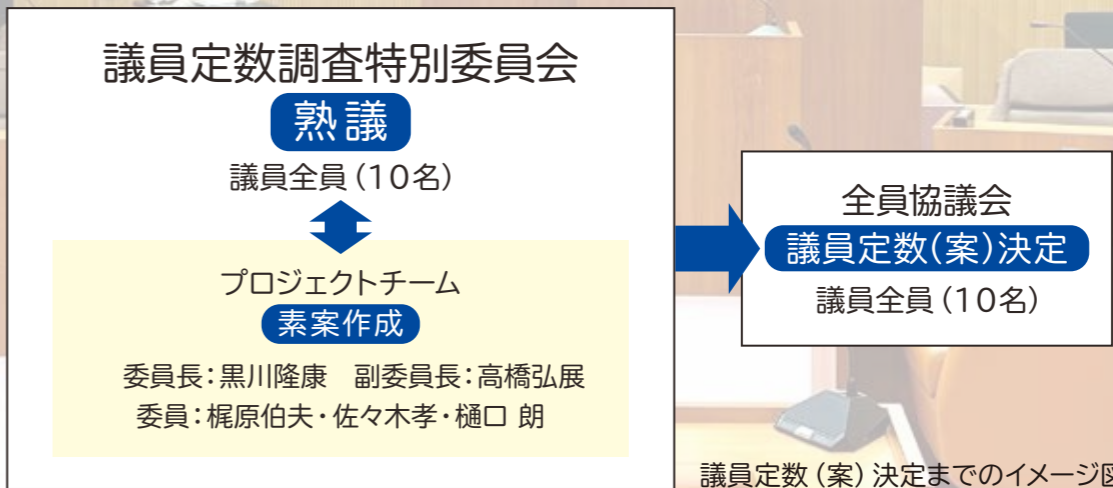


県ではパルスオキシメーターの貸出も行っています

# どうする? 議員定数

人口減少に伴い、「議員定数」の適正化について、現議員で今任期中に議論していくことになりました。そこで、12月定例会にて議員定数調査特別委員会の設置を行いました。委員会ではプロジェクトチームが素案を作り、議員全員で熟議していきます。

村議会議員は、「村民を代表して、税金の使い方や地域の未来の姿を描く」ことが仕事です。議員一人ひとりがどう活動すべきか、議会としてどう活動すべきか学び、何人が適当か、議会の今後のあり方を導き出したと考えています。



## コロナの先に

合同会社  
東峰村ツーリズム  
協会編



小野 豊徳 代表

東峰村ツーリズム協会の代表である小野豊徳さんは、観光ガイド、木工品制作、特産品販売、移住コーディネートターの業務を行っています。

新型コロナウイルスの影響以降、観光ガイドの依頼は「ゼロ」に。その窮地を救ったのはふるさと納税だったそうです。東峰木人(こびと)ブランドとしてスプーンや木べら、ペーパーナイフなどの木工製品や、小石原焼等の特産品をふるさと納税の返礼品として出品することで売上を確保できたと、代表の小野さんは話されました。



山桜のスプーンとフォーク

令和4年に入り、観光ガイドの依頼も増加傾向にあるものの、コロナ禍以前に活発化していたインバウンド(外国人旅行者)需要はほとんどなく、これからの期待しているとのこと。また、令和5年夏にはJR日田彦山線のBRTが開通することから、BRTに乗ることを観光の目的となるよう仕掛けを行っていきたいと、期待を語られました。

総務常任委員会活動報告

委員長 大蔵久徳

### より丁寧な熱中症対策が必要では?

近年の地球温暖化に伴い、東峰村でも夏場は高温多湿となり、熱中症の対策が必要となっています。8月22日の委員会では、住民福祉課に熱中症対策の状況を質問し、委員会として次の事項を申し入れ、回答を得ました。

総務企画課・住民福祉課・教育課の事業について

調査しております。

委員会開催日 令和4年5月26日・7月19日・8月22日  
9月29日



熱中症チラシ

申し入れ 1  
診療所の医師より熱中症とはどのような疾患で身体に与える影響、どうすれば大事にならないかなど発信できないか

申し入れ 2  
熱中症アラームを高齢者の住宅に設置できないか  
担当課 対応 来年度の予算に計上できるか検討する

申し入れ 3  
防災無線で東峰村の一番注意すべき時間を放送し、注意喚起できないか  
担当課 対応 防災無線により注意喚起を行った

さらに、住民福祉課ではワクチン接種会場で熱中症に関するチラシを配布しました。



熱中症アラーム

経済常任委員会活動報告

委員長 佐々木紀嘉

### 親水公園駅の設置は必要か?

JR日田彦山線のBRT化に伴い、駅周辺整備が予定される筑前岩屋駅、大行司駅、宝珠山駅及び親水公園駅予定地を視察しました。

その他にも、小石原ダムふれあい公園予定地・河川の被災箇所・道路の不具合箇所等、主管する課の問題を調査・協議し、改善に向けて提言しております。

ふるさと推進課、農林建設課の事業について

調査しております。

委員会開催日 令和4年6月7日・7月12日・8月3日  
9月14日・12月14日

①板柵工による歩道設置案 約1億円  
②エレベーター設置案 約2億円  
③スロープカー設置案 約1億8千万円

また、仮設道や仮橋の設置、法面の地質によって補強工事等も必要となり、さらに工費が増加する可能性があります。当初3000万円という工事費見積りを大幅に上回るかなりの高額工事費になる事がわかりました。村からは駅までのアクセスについて3つの提案が出されました。

また、仮設道や仮橋の設置、法面の地質によって補強工事等も必要となり、さらに工費が増加する可能性があります。当初3000万円という工事費見積りを大幅に上回るかなりの高額工事費になる事がわかりました。村からは駅までのアクセスについて3つの提案が出されました。



大行司駅ホーム



棚田親水公園駅予定地



# 「県境の駅を守る」

## シリーズ 日田彦山線 沿線物語

筑前岩屋→大行司→宝珠山

令和5年のBRT開通に合わせて、シリーズで沿線住民の皆さんの取り組みをご紹介します。



岩田昭宣氏(猿喰出身)作  
昭和42年当時の宝珠山駅の様子



駅周辺の草刈りの様子



九州内で唯一の県境をまたぐホーム

宝珠山駅は、昭和12年8月に石炭を積み出す機能を持つ駅として開業しました。線路は8番線まであり、昭和38年の炭鉱閉山までその責を担い、大変賑わいました。村の中で一番に開業したので、福井駅でなく宝珠山駅と命名されました。また、ホームが九州内で唯一の県境をまたぐ駅として話題となりました。

今の建物は、平成9年に昔の面影をそのまま残して建て替えられました。

この駅を守っていくために、東福井自治公民館の一館一運動として、毎年7月に駅周辺の草刈りなど美化活動を行ってきました。(災害以降は、延田下組中心)

## 編集後記

新年おめでとう

ございます

今年は、癸卯(みずのと)の年です。癸卯は、これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起のよさを表しています。コロナ禍で滞っていたことが開花していくことを祈念します。そして東峰村が更に発展し、村民皆さんが笑顔で幸せになるために、共に力を合わせていきたいと思っています。

(佐々木 孝)

議会広報特別委員長	高橋 弘展
委員長	佐々木 孝
副委員長	高倉美紀恵
委員	樋口 朗
	和田 将幸
発行責任者	伊藤 均